

2010年「アルミ業界重大ニュース」について

(社)日本アルミニウム協会
(2010年12月22日)

項 目	コ メ ン ト
① アルミ総需要、大幅に回復、通期では400万トに迫る勢い	2009年のアルミ総需要は7年ぶりに400万ト割れとなったが、2010年は自動車、電気機械をはじめ需要が大幅に回復し（2010年1～9月までの総需要は292.4万ト、対前年同期比+27%）、通期では400万トに迫る勢い。
② アルミ缶リサイクル率、93.4%と過去最高を記録	アルミ缶リサイクル協会の発表によると、2009年度のアルミ缶リサイクル率は前年度比6.1%増の93.4%と過去最高を記録。
③ アルミ鉄道車両、明るい話題相次ぐ	2009年度のアルミ鉄道車両生産が前年度比22.8%増の926両となり、過去最高を記録した他、7月に新型スカイライナーが上野～成田空港間を走行、12月に東北新幹線の八戸～新青森間が新規開業するなど、アルミ鉄道車両に関する明るい話題が相次いだ。
④ 車載用リチウムイオン電池の普及が加速	12月に発売された日産「LEAF」、ホンダ「シビック・ハイブリッド」にリチウムイオン電池が搭載される他、トヨタもリチウムイオン電池を搭載したハイブリッド車の生産に乗り出すなど、アルミ箔を多用したリチウムイオン電池の普及が加速。
⑤ LED照明の市場規模、急速に拡大	LED照明では電球の口金や蛍光灯の放熱板等にアルミが使用されるが、民間シンクタンクの調査によると、2010年のLED照明の市場規模は前年比95.2%増の730億円と急速に拡大する模様。
⑥ アルミ協会、2020年の世界のアルミ新地金需給見通しを発表	アルミ協会は2020年の世界のアルミ新地金需要が、2010年予測値の3,800万トから94%増の7,390万トになるとの試算を発表。その内、中国は4,360万トと世界の約6割を占める見込。
⑦ 中国のアルミ新地金生産、2010年は世界の4割強へ	中国の2010年の新車販売台数が1,800万台と昨年に続き世界一となる見通しの中、2010年のアルミ新地金生産も世界一を継続し、昨年比28.4%増の1,750万トと世界の4割強を占める見込。

以 上